

ミニロボ大会のルール(2025年改訂版)

ミニロボはサッカーロボットです。試合もサッカーでのチーム戦となります。通常のサッカーとはルールが異なりますので、試合を行う際は下記ルールをご確認ください。

1.チーム人数

2人（基本2人チームですが、1人や3人チーム等、開催される大会により異なります。）

2.試合時間

前後半2分の計4分（開催される大会の形式により異なる場合があります。）

3.ミニロボ公式フィールド

ミニロボのフィールドは、見た目はサッカーのフィールドとほとんど一緒です。ドロップボールマークが設けられ、全周壁に囲まれています。

【フィールド寸法】：縦 1800mm × 幅 1440mm（ゴール除く）

【ゴール寸法】：幅 360mm × 高さ 130mm

【ゴール侵入防止バー】：ミニロボのゴールへの侵入を防ぐため、フィールド底面とゴールの境界にゴール侵入防止バーが設置されています。

【ペナルティエリア】

通常のサッカーに合わせてペナルティエリアと呼称していますが、役割は異なります。

キックオフ時のディフェンス側の待機エリア等が主な用途になります。その他の役割については、**5.試合のルール**参照のこと。

（実物のフィールドにてゴール前に四角く囲まれたエリアが2つある場合は、外側がペナルティエリアになります。）

【ドロップボール位置】

ドロップボール時にボールを落とす位置。

ドロップボールについては、**5. 試合ルール** **【ドロップボール】**参照のこと。

4.試合の流れ

以下の順番で試合が進行します。

- ① 開始のあいさつ 「よろしくお願いします！」
- ② 前半戦(2分) HOME側チームからキックオフ
- ③ 後半戦(2分) AWAY側チームからキックオフ（ハーフタイムや立ち位置の入れ替えはありません。）
- ④ 終了のあいさつ 「ありがとうございました！」

試合中、得点が入った場合、得点を入れられた側のチームのキックオフで試合を再開します。この時、時間は止まりません。

イエローカード/レッドカードが出た場合や、運営側の問題で試合が中断した時のみ、時間が止まります。

5.試合ルール

【キックオフ】

オフENSE側は、1台がセンターサークル内でボールを保持し、自陣ゴールを向いた状態で開始となります。他のミニロボはセンターライン

より自陣側であれば、どの位置でも構いません。**ディフェンス**側は、開始の合図があるまでペナルティエリア内で待機します。

【ドロップボール】

試合を円滑に進めるため、審判がボールを回収してドロップボール位置にドロップボールを行う場合があります。ドロップボールを行う際、原則、審判が「ドロップボール」と宣言してからドロップボールを行います。審判がドロップボールを宣言後、ボールが動いてゴールに入ったとしても、そのゴールは無効となります。ドロップボールとなる条件は以下の通りです。

- ボールが**ペナルティエリア内**にある状態で、試合が停滞している場合、審判が5カウントします。5カウント後も停滞状態から変化がないと審判が判断した場合、**付近のドロップボール位置**にドロップボールします。
（※ゴール前の攻防で膠着状態になった場合、ゴールに入る可能性がある**と審判が判断した場合はカウントを行います。**）
- ボールがミニロボに挟まったり、乗り上げた時、ボールがすぐに外れないと審判が判断した場合、**フィールド中央のドロップボール位置**にドロップボールします。（※ボールがミニロボに挟まった影響で、挟まった側のミニロボのチームが得点した場合、その得点は無効となります。）
- ボールを取り合った状態でミニロボ同士が絡んではずれなくなった場合、**フィールド中央のドロップボール位置**にドロップボールします。
- ボールがフィールド外に出た場合、どちらのチームが出したかに関わらず、**フィールド中央のドロップボール位置**にドロップボールします。
- この時、**審判はドロップボールの宣言をせず、即座にドロップボールを行います。**
- その他、審判が必要だと判断した場合、ボールを回収し、**フィールド中央のドロップボール位置**にドロップボールします。

【得点の条件】

ゴール内にボールが収まった時、得点となります。**ゴール内で跳ね返りゴール外にボールが出た場合、得点とならず、試合を継続します。**

【反則行為】

以下の行為を行った場合、審判が「**警告**」を行います。警告後も改善されないと審判が判断した場合、「**イエローカード**」「**レッドカード**」

を出します。その行為が悪質だと審判が判断した場合は、警告なく「**イエローカード**」「**レッドカード**」出す場合もあります。

- 試合中、プレイヤーが**ミニロボを触った場合**
- 対戦相手やチームメイトへの**暴言、暴力、相手が不快に感じる言動**
- ペナルティエリア外で相手ミニロボを押さえつける行為**
- ペナルティエリア内でボールを持っていない相手ミニロボを押さえつける行為**
- ボールを保持し、壁際から動かない**遅延行為**
- 同じチーム同士でボールを挟んで離さない状態での**遅延行為**
- 審判の指示に従わない行為

<イエローカード/レッドカードについて>

カードが出た場合、試合を止め、カードを出された選手の反対のチームからのキックオフで試合を再開します。（この間、試合時間も止まります。）

イエローカードが累積で2枚、あるいはレッドカードが1枚提示されたプレイヤーは、その試合退場となり次の試合も出場停止になります。

イエローカード/レッドカードはその大会の表彰式の時点でリセットされます。

【その他、試合中に発生した問題に対する対応について】

- 試合中、何らかの理由によりミニロボを回収した場合、試合に復帰する際は審判がペナルティエリア外の試合に影響を与えない位置にミニロボを戻します。
- パーツが外れた場合、審判が外れた部品を回収します。（※試合の妨げにならないタイミングで回収します。）
外れたパーツが、車検通過の可否に影響を与えるものであった場合、外れたパーツ及びミニロボを回収し、選手へ修理を指示します。
- タイヤカバーを固定するネジが片側だけ外れ、タイヤカバーが開いてしまった場合、ドリブルプレートの角度の規定やミニロボの寸法規定に抵触する可能性があるため、回収し、選手に修理を指示します。
- タイヤカバーの片側のツメが外れてタイヤカバーが開いてしまった場合は、**回収せず試合を継続します**。選手から回収の申告があった場合のみ回収します。
（※ミニロボの寸法規定に抵触する可能性があります。ミニロボの構造によるものなので、回収対象からは除外いたします。）
（※ツメを固定するネジ自体が外れてしまい、タイヤカバーが開いてしまった場合は、回収対象となります。）
- パーツが外れて宙吊りになりミニロボの外周からはみ出している場合、ミニロボの寸法規定に抵触する可能性があるため、回収し、選手に修理を指示します。
- 外装の取り付け角度(盾などの追加パーツ含む)を故意に変更、もしくは他の影響で変化し、車検通過時と外周サイズが変化した場合、ミニロボの寸法規定に抵触する可能性があるため、回収し、選手に修理を指示します。
（※故意に部品の角度を変更したい場合は、変更前後の両方の状態について車検を通過させる必要があります。）
- キックプレートが上がったままの状態になった場合。審判がミニロボを回収し、選手に修理を指示します。
（※キックボタンを押しても直らない状態。ボールがはさまったり、ミニロボ内部に入ってしまったり、乗り上げてしまうような角度の場合。）
- 回収対象のミニロボは、審判が速やかに回収します。審判の回収前に、対象のミニロボが**取った行動(得点やブロック等)**は有効とします。
審判がミニロボを回収する際、そのミニロボを操作するプレイヤーは審判の指示に従ってください。従わない場合は反則行為とみなします。
- ドリブルプレートが引っ込んだ状態で出てこない場合、試合継続。選手から回収の申告があった場合のみ回収します。
- ミニロボがゴール侵入防止バーに乗り上げた場合、審判が速やかにフィールドに復帰させます。ただし、近くにボールがあり、審判の介入が得点に影響すると判断した場合、その状況が変化するまでミニロボを復帰させません。
- ミニロボが完全にゴールに入ってしまった場合、ゴール裏側から取り出し、審判がペナルティエリア外にミニロボを戻します。
（※試合に影響を与える可能性が高いため、ゴール表側からは復帰させません。）

6.大会に出場するには

大会の情報はミニロボ公式ホームページで公開しています。「Pick up」情報や「イベントカレンダー」をご確認ください。

公式大会にはエントリーが必要です。**各大会には年齢制限があります。**

（市長杯：小学3年以上中学生以下、県大会：小学3年以上(大人も可)、親子大会：小学3年以上中学生以下の子と親）※小学2年生以下は要相談。

また、ミニロボプラザ等ではエントリー不要な小規模の大会も行われています。併せてご確認ください。

大会に出場するにはミニロボのメンテナンスはもちろん試合練習が重要です。お近くの「**ミニロボプラザ**」へお越しください。

「ミニロボプラザ」の情報は36ページをご参照ください。